

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

保守の会会派室



2017 年秋の撮影写真

多摩都市モノレール出資金

新たに「町田市多摩都市モノレール基金条例」案が提出されました。多摩都市モノレールの町田市方面に延伸するために必要な資金を積み立てる目的の条例案です。私は町田市がその方針を打ち出すより以前から、このモノレール延伸を訴えてきたので、基金に限らず、その関連出費は必要不可欠と考えてきました。その意味で、この基金条例案には賛成するものです。

多摩都市モノレール基金の用途は、運営事業者である、多摩都市モノレール株式会社への出資金や、関連の道路や施設整備の建設工事費に充てるというものでした。多摩都市モノレール株式会社は、東京都と沿線鉄道事業者、金融機関、沿線自治体などの出資で設立されるものですが、町田市はこれに加わっておらず、これまで、一切の出資金や負担金を出していません。私が、これまでに他の自治体議長から聞くと、「町田市が後から参加するのであれば、これまでの自治体をはるかに上回る負担が必要だ」と言われています。こうした意見も一理あり、将来的に無視できない考えだと思っています。



南多摩市議会議長会の要望活動
2017 年撮影

政策予算と骨格予算の相違



中学校卒業式に来賓出席した後、本会議が開催され、以下の議案をたしました。

平成 30 年当初予算案に、「陸上競技場観客席増設の実施設計委託料」が計上されました。内容はサッカー場の J 1 仕様に向けて、約 5 千席の観客席を増設することを前提にしたもので、見込みで 60 億円、さまざまに削って 50 億円かかるとされるものです。

前年度（改選前）の議会説明や、この当初予算案の説明書には、今回は 2 月 25 日に選挙があったので、原則、政策的な予算は今期の選挙後に策定する趣旨が書いてあり、このたびの予算は骨格的予算であることが述べられています。なのに、まさに政策的な予算としかとらえようがないものを盛り込んだ予算案が事務当局で作られ、市長・市議会議員改選直後の議会に出されてきました。

本来、次の 6 月に開催される定例議会に、石坂市長の目玉政策実現の一環として提出されるべきものと思っています。

私は本会議質疑において、この点をたしました。答えは、「提出したものは、骨格予算である」と言い張り続けられた次第です。

★ 政党無所属・市議会は保守の会 総務常任委員会に所属

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員 **3 期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート②立木優花

まずは町田市議会事務局の吉田議員を訪ね、自分の名刺を頂きました。議員や事務局の方々とは名刺交換をし、初めての経験にとっても緊張しました。

次に YouTube 作成のお手伝いをしました。吉田議員は 3 月 8 日で議長を任期満了となるため議長室で動画を三本撮影しました。内容は議長の仕事に対する思い入れや議長室の中の紹介でした。中でも日大三高や桜美林高校の甲子園出場の紹介もあり、吉田議員の町田市に対する強い想いを感じました。動画撮影後は YouTube にアップするため、文章を打ち込む作業を行いました。「情報公開」を武器にしている吉田議員は YouTube や Twitter、Facebook などを利用して動画をいち早く公開していることを知りました。

昼食後には吉田議員が主催されているクトロヴァッツコンサートの広告の打ち合わせに同行しました。広告のデザインや構成などの相談をしました。広告をどのように工夫したら人の目に留まりやすいのか、興味を持つのかなどを考えました。また、このコンサートは 2018 年の 9 月 22 日開演ですが、早い



時期から準備をされていることを知り驚きました。

最後に吉田議員の確定申告をするため税務署を訪ねました。まず必要な書類の準備をし、申告書の作成をしました。中でも印象に残ったのは手続きを待っている際に吉田議員が何人もの市民の方々に声をかけられていたことです。「いつも駅で見かけます」といった多くの声が今回の選挙でもトップ当選につながっているのだと思いました。

立木優花 東京家政大新 3 年生 (第 41 期生)

予算の委員会審議事項例

私は、改選後、総務常任委員会の副委員長に就任していることで、その会議に出席しました。

印象的な質疑では、おく栄一議員の「外部監査制度報酬」の質疑でした。以前から、町田市の外部監査制度報酬は高すぎると議会では多くの議員から指摘されていました。町田市は近似市として、横浜市や川崎市や相模原市に加え、八王子市などと一緒に比較したことが明らかにされました。自ずと、政令指定都市の行政規模と町田市のような一般市では比較にならない例が多いのは周知の事実ですが、町田市の行政が組む予算では、安易に政令市ベースを前提に設定されていることが判明しました。この議案は賛成多数（私も含めて）で可決しましたが、翌年以降には、行政側から新たな金額が出されてくるでしょう。

* 吉田つとむの委員会における発言事項は、次号に掲載予定です。

★ 吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

* この市議会報告の印刷、発行経費に関して、市議会の政務活動費は使用していません。